

今年度は「パーソン・センタード・ケア」をテーマに取り組みます。

令和3年度

みょうこう ケアフォーラム

通信



令和3年度 第1回みょうこうケアフォーラム を開催しました！

- 日 時：令和3年12月4日(土)13時30分～15時30分
- 会 場：オンライン開催・妙高市役所
- 参加者：53名(介護ネットワーク事業所、医療機関、薬局、福祉用具事業所等)

概要

今回は、NPO法人パーソン・センタード・ケアを考える会の代表理事である村田康子様を講師に迎え、たとえ認知症になったとしても一人の人として尊重する認知症ケアの理念『パーソン・センタード・ケア』について学びました。

昨年度同様のオンライン開催でしたが、慣れている方も多く、和やかな雰囲気の中で積極的なグループワークが行われました。

実施後アンケートでは、全員が「日頃の支援を振り返る機会になった」「フォーラム内容に満足した」と回答しており、対人援助職としての大切な考え方を深く学ぶことができました。

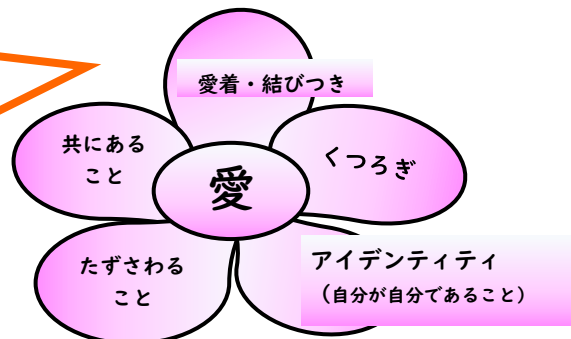
講義

- テーマ 「パーソン・センタード・ケアの学びを深める
～パーソンセンタードケアに込められた思いと信頼しあう関係づくり～」
- 《講師》 NPO法人パーソン・センタード・ケアを考える会
代表理事 村田 康子 様



パーソン・センタード・ケアは、トム・キッドウッド教授により提唱された認知症ケアの理念です。たとえ認知症になったとしても、変わらず人として尊重し、支え合う人間関係の構築を目指します。

- 「重度の認知症になると何も感じなくなる」「認知症の人には想いが無い」という思考になっていませんか。
⇒認知症を持つ人は、私たちと同様にあらゆる面で人として遇されることを必要としています。
⇒変わらず人として支え合う関係性が大切です。その人が感じている思い（ニーズ）を汲み取り、一緒に満たそうとする関わりを行えていますか。



何を求めているのか：心理的ニーズ

VIPSの視点で関わらしましょう！

V (Valuing People) : 人々の価値を認める。

I (Individualised Care) : それぞれの人の独自性が尊重された生活

P (Personal Perspectives) : その人の視点に立つ

S (Social Environment) : 支え合う社会的環境



ドーン・ブルッカー
教授提唱

G W

・専門職と認知症の方(Qさん)が接する場面の映像を見て、グループごとに下記内容を話し合い、より具体的にパーソン・センタード・ケアを考えました。

- ①Qさんが発していたサインは、よい状態のサインかよくない状態のサインか。
- ②Qさんは、どのような気持ちだったと思うか。心理的ニーズは満たされているか。
- ③Qさんのどのような背景・要因が影響しているか。
- ④Qさんの心理的ニーズを満たし、よりよい状態で暮らし続けていくためには、どのようなアプローチができるか。

GW終了後は、講師の村田先生から講評をいただきました。
ご本人が発している小さなサインをどのような心理的ニーズと結びつけるかによって、幅広いアプローチにつなげることができること。パーソン・センタード・ケアの基本的な考え方、行動指針としてのVIPSを振り返る中で、妙高市というケアチーム一体となって取り組むことの大切さを実感しました。



会場参加者のGWも盛り上がりました。

まとめ

人と人として尊重しあう関係性が大切。

講義終了後は参加者を代表して、実行委員会の揚石先生からまとめていただきました。

■人と人(Person to Person)

- ・パーソン・センタード・ケア、VIPSは認知症の人に限らず、全ての人に対する共通の考え方であり、日々の暮らしの行動指針にもなる。
- ・「専門職(支援する立場の人間)と利用者(支援される立場の人間)」という関係性ではなく、「人と人」という関係性で関わるのが大切。
- ・「人と人」という関係性は専門職同士においても必要。互いに尊重し合いながら一緒にチームとして仕事をしましょう。

■参加者の実施後アンケートでも…

- ・介護保険を利用する側とケアマネジャーという関係ではなく、利用者さんもお家族も大切な人として関係を深めたい。
- ・人と関わる業務の中では、どんな場面でも必要な考え方であると感じた。
- ・利用者の立場に立てば介護者から問題があると感じられる行動も、本人にとっては意味がある行動であるということは、目を開かされる思いがした。本人の意思を読みとるための声かけや態度等に注意していきたい。
- ・日頃の支援を振り返る機会になった。定期的に本研修を振り返りたい。

等の様々なお声をいただきました。



休日開催に関わらず、多くの方にご参加いただきました。

第2回みょうこうケアフォーラムは、3月3日(木)を予定しております。ぜひご参加ください！